セクハラやパワハラ禁止!

国際労働機関(ILO) 年次総会で採択!!

6月21日、働く者の暴力や嫌がらせ（ハラスメント）を撤廃するための条約が、スイスジュネーブで開かれた国際労働機関（ILO）の年次総会で採択されました。

仕事上のセクハラ・パワハラを禁じる初めての国際基準となります。また、日本政府も賛成しており、今後は条約の基準を満たす国内法の整備が早急な課題となります。

この条約は

仕事での暴力とハラスメントを「身体的、心理的、性的、経済的被害を引き起こす、または引き起こしかねない、様々な受け入れがたい振る舞いや慣行」と定義

日本では、5月下旬、企業にパワハラ相談窓口設置などの防止策を義務づける改正労働施策総合推進法が成立しました。

企業に防止策をつくって運用するよう義務づけ、対策に取り組まない企業には厚労省が、改善を求め、従わなければ企業名を公表する場合があります。

セクハラ・パワハラは、当然受けて側からの発信です。

※5月21日新加入した組合員への連日行われた、管理者による立ち会い点呼や、加入後、約1ヶ月間に8回に及ぶ異常添乗も、まさに企業・管理者権力を行使した、れっきとしたパワハラ行為であると警鐘を鳴らします!

世界に冠たるJR東海会社は、率先してセクハラ・パワハラ防止策を推進せよ!!